2014:Philips 超電導3.0T/1.5TMRI装置Ingenia CX発売

- 高速撮像法での画質向上：傾斜磁場の性能を上げて、高速撮像法での画質の向上を図った。傾斜磁場強度は、Ingenia 3.0T CX (3T)で80 mT/m, Ingenia 1.5T CX (1.5T)で66mT/m
- ルーチン検査の時間短縮：アナログデジタル変換器をRFコイルに内蔵し、コイルから先はデジタル化された信号を光ケーブルで伝送するdStream技術を採用し、SNRを最大40%向上させた。これによってルーチン検査の時間短縮もしくは高度な撮像をルーチン検査で実施できる。
- 新しいDWI法TSE DWI（側頭葉などで歪を抑えた撮像が可能）及びLIPO（腹部または乳腺DWIでのアーチファクトを抑制）を搭載し、安定した高画質なDWI法を提供